

次の文章を読んで、問いに答えよ

(設問の都合上、訓点を省略した部分がある)

普ノ沙門ノ釈法安ナル者ハ、廬山ノ遠法師ノ弟子也。義熙ノ末、陽新県ノ虎暴ナルコト甚ダ盛シナリ。県ニ有ニリ大社一、樹下ニ有レリ築ニク神廟一ヲ。左右ノ民居スルニ以レテ百ヲ数ヘ、遭レヒテ虎ニ死スル者、タベニ必ズ一両アリ。法安①嘗遊ニヒ其ノ県一ニ、暮レニ投ニセントスルニ此ノ村一ニ、民以レテ懼レルルヲ虎ヲ、早ニ閉ニテ門閭一ヲ、②且^{ただ}不識法安不肯受之。法安怪^{ただ}チニ之ニキテ樹下一ニ坐禪シ、通夜シテ向^{なんな}レントス暁ニ。有レリ虎負レヒテ人ヲ而至リ、投ニズ樹之北一ニ。見レテ安ヲ如レク驚クガ、跳^はネテ伏ニス安ノ前一ニ。安為ニ説レキ法ヲ授レクルニ戒ヲ、虎距^{うずま}レリテ地ニ不レ動カ、有レリテ頃^{しば}而去ル。至レリ旦^{あした}ニ村人追ニヒ死者一ヲ、至ニリ樹下一ニ、見レテ安ヲ大イニ(あ)、謂^{おも}ニフ其ノ神人ナルガ故ニ虎不^レルカト害セ。自^{これ}レリ茲以後、而虎ノ患^{うれ}ヒ遂ニ息^やミ、衆③益^益敬異ス。一県ノ士庶、略皆奉^ほレズ法ヲ。後ニ欲^レシテ画ニカント像ヲ山壁一ニ、不^レ能^レハ得ニル空青一ヲ、欲^レスレドモ用ニヒント銅青一ヲ、而又無^レシ銅。夜夢ニ人怪^ゆニキテ其ノ牀前一ニ云フ、「此ノ中ニ有ニリ両銅鐘一、便チ可^レシト取^レル之ヲ。」安明クルニ即チ掘リ得テ、遂ニ以テ成^レス像ヲ。

(『法苑珠林』による)

注 遠法師||東晋の高僧。 義熙||東晋の年号(四〇五―四一八)。 陽新県||地名。

門閭||村の入り口の門。 空青||銅鉞から産出する鉞石で、絵の具となる。

銅青||銅の表面の緑色のさび(緑青)で、絵の具となる。